

田中裕規 議員レポート

2018年 7月号 No.5

初夏の候、サッカーワールドカップやカープ応援で盛り上がり、毎日暑い日々が続きますが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今回は、6月11日～6月25日で開催された平成30年第3回三原市議会定例会の状況報告と活動状況をみなさまにご報告致します。

1. 平成30年度の田中ひろき活動方針

- ◆所属会派 新風会
- ◆担当委員 経済建設委員会、都市計画審議委員会、議会運営委員会、議会広聴部会、駅前東館跡地活用調査特別委員会
- ◆活動方針 **住みやすく 生き生きとした 魅力ある三原をめざします!!**
- ◆活動目標 **賑わいと交流のある街づくりのための行政への提言と、自ら動き小さな変革を進めて行きます。**
※活動内容は、後援会だよりで報告していきます。



三原市議会議員
田中ひろき

◇ プロフィール

1959年8月9日生
東京農工大学工学部
大学院卒
元帝人(株)社員
家族構成
妻と息子3人

◇ 連絡先

三原市港町三丁目
16番13号
携帯 090-7137-0440
FAX 0848-64-8911

2. 6月定例議会一般質問で問う

6月の定例議会の一般質問では、**少子高齢化の進む中山間地域の新たな地域振興策のひとつ**として、国が推奨している農山漁村での「子どもたちの生活体験ホームステイ」の受け入れ体制整備についてと、**歴史あるトライアスロンさぎしまの課題と今後**についての2件の一般質問を行いました。以下に、一般質問の概要を示します。

(1) 「子ども農山漁村交流プロジェクト」の受け入れ推進について

【質問】 広島県内の多くの自治体は連携を組み、国が進める「子ども農山漁村交流プロジェクト」の受け入れ体制を整え、都会からの子ども達の体験型修学旅行の受け入れを行っているが、本市は受け入れ体制の整備をなぜ積極的に進めないのか。

【答弁】 本市においても、大和町農山村体験推進協議会の構成員として、会議への参加や各種助成事業の情報提供を行っている。市としては、取り組みの拡充・発展について中長期的な視点を持ち、観光課や農林水産課などの内部連携や観光協会など関係団体とも情報共有し、農山漁村の生活体験が、地域振興や観光振興に結びつくよう、地元の意向を尊重しながら、今後対応していく。

※ 中山間地域の新たな地域振興策のひとつとして、国が進めている取り組みです。将来的には、都会に集中している観光客やインバウンド（訪日外国人）を地方にも呼び込み、モノからコト（体験）の消費をしてもらうことで、中山間地域の所得向上とやりがい作りを狙っています。三原市は新しい事への取り組みがいつも後手にまわるため、積極的な推進を促しました。

(2) トライアスロンさぎしまの課題と今後について

【質問】 今年で第29回目を迎える歴史ある「トライアスロンさぎしま」を本市はどう捉え、どうしていこうとしているのか。

【答弁】 県内で最も歴史があり、スポーツを通じた佐木島の活性化や交流人口の増加に寄与する大会である。地元主催から生まれる力を、行政の知恵を活かしながら支援していきたい。

【質問】 来年は第 30 回の節目の大会となるため、記念セレモニーを企画してはどうか。また、今後も継続して行くための方策を考える必要があるのでは。

今年は、湯崎知事も
チーム参戦されます!!

【答弁】 トライアスロンさぎしま大会にふさわしいセレモニーが開催できるよう、実行委員会とも協議していく。また、今後も継続して行くための方策については、本大会を支えてこられた方々等と、検討する場を設けたい。

※ 近年トライアスロン人気により、周辺各地（福山、伯方島、大崎上島、廿日市）でトライアスロン大会が開催されるようになり、参加者の取り合いが始まっています。トライアスロンさぎしまは、運営主管が鷺浦町で地域行事に位置付けられるため、行政のサポートがほとんど無く、全島民とボランティアでここまで運営してきました。しかし、少子高齢化により、年々島民での運営が厳しくなっています。

平成の時代と共に歩んだ歴史のあるトライアスロンさぎしまを、今後どのようにしていくべきかを考える時期に来ています。三原市民のみなさんのご意見をお聞かせください。



3. トピックス

◆ 駅前図書館の指定管理者の選定結果について

平成 32 年 7 月オープン予定の三原市立図書館の指定管理者優先交渉権者が決定しました。公募により 2 団体の応募がありましたが、選定委員会での選考結果、「三原 幼域みらい創造グループ」* に決定しました。平成 31 年 4 月（準備期間）から平成 37 年 3 月までの 6 年間、三原市内の全ての市立図書館を管理することになります。

*三原 幼域みらい創造グループ：代表団体 シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
構成団体 株式会社啓文社

◆ 不燃物処理工場更新に関するアンケート集計結果

不燃物処理工場の更新に合わせて、資源化ごみの品目毎の収集日の見直しが検討されています。生活環境推進員へのアンケート結果、週 4 回の分別収集案を選択した方が最も多く、現行週 3 日収集から週 4 日収集に変更して、資源化率と利便性の向上を図る検討が進められる予定です。

4. 活動報告 & お知らせ

(1) ペアシティ西館 1 階 野菜市場出店開始

駅前への賑わい創造計画のひとつとして、ペアシティ西館 1 階空きスペースへのショップ出店を募集していましたが、**三原の美味しさ**と**安全を考えた「こだわりの農家さん」の農産物販売**の出店が決まりました。

7 月から毎週月曜日 10 時～15 時に**野菜販売**が行われていますので、是非お出かけください!!



(ペアシティ 1 階野菜販売)

(2) 佐木島生活体験ホームステイ協議会立ち上げ準備中

佐木島でも「子ども農山漁村交流プロジェクト」を進めるため、受け入れのための**協議会を立ち上げ準備中**です。来年からの活動に向けて、受け入れ家庭の募集や、体験プログラムの開発を進めています。



(みかん収穫体験)

(3) 塔の峰千本桜ツアーガイドに挑戦

佐木島の塔の峰千本桜は、**広島県の桜の名所 No.1**にも選ばれ、年々多くの花見客で賑わいが増しています。今年は、ボランティアガイドとしてツアーガイドにも挑戦しました。吉野の桜にも負けられないと言われています。まだ感動を未体験の方は、来年の春、忘れずお越しください!



(塔の峰千本桜)

5. あとがき

議員になって1年が過ぎ、この一年間で三原のために何ができたのだろうかと振り返りながら、これまでに蒔いた種を少しでも芽吹かせようと、これから1年の目標を立てたところです。活動目標に挙げている三原の賑わいと交流のある街づくりのためには、起爆剤が必要です。事を起こし、形にしてみせ気付いてもらうことが必要と思っています。駅前での起こし、佐木島の起こしを中心に、これからも三原の活性化活動にまい進していきますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

<市民のみなさまからのご意見・ご要望をお待ちしています!!>

- 駅前の賑わい創生のためのアイデアについて
 - いま困っていること
 - 三原の将来について、してほしいこと
 - 行政や関係団体などの課題について
- 等

【連絡先】 E-mail : h-tanaka1@gm.tp1.jp
携帯電話 090-7137-0440